

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-133848 (P2003-133848A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)
 【出願番号】特願 2002-256730 (P2002-256730)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 Q 13/10

H 0 1 Q 13/02

H 0 1 Q 23/00

【F I】

H 0 1 Q 13/10

H 0 1 Q 13/02

H 0 1 Q 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 26 日 (2005.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 スロットアンテナ型の長手方向の放射で波を送受信する 1 個以上である n 個の手段の組立体と、

少なくとも一つのアンテナのスロットに電磁氣的に接続された励振手段と、

該励振手段とスロットアンテナの少なくとも一つのスロットとの間の電磁カップリングを制御することにより動作するスイッチング装置と、

を有する装置であって、

スイッチング装置は、

スロットアンテナの一つのスロットを画成する二つの金属表面間に可逆電気接点を形成する少なくとも一つの手段と、

上記可逆電気接点の状態を制御する手段と、

を具備することを特徴とする装置。

【請求項 2】 スロットアンテナは、基板に印刷された少なくとも一つのスロットを含み、

スロットの一端は基板の縁に向かって徐々に広がり、

閉じていないスロットの他端は基板の別の縁の方へ延びる、

ことを特徴とする請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】 印刷されたスロットアンテナのスロットとマイクロストリップラインは、

0 が真空中の波長を表わし、

1_{reff} がスロットの実効比誘電率を表わし、

k' が奇数を表わし、

$s = 0 / (1_{\text{reff}})$ であるとき、

スロットの広がっていない方の他端から $k' s / 4$ の距離だけ離れたシステムの中心動作周波数で交差することを特徴とする請求項 2 記載の装置。

【請求項 4】 スロットアンテナの一つのスロットを画成する二つの金属表面間に可逆電気接点を形成する手段は、

λ_0 が真空中の波長を表わし、

ϵ_{reff} がスロットの実効比誘電率を表わし、

k' が奇数を表わし、

$s = \lambda_0 / (2 \epsilon_{\text{reff}})$ であるとき、

マイクロチップラインから距離 $k' s / 4$ だけ離れている場所でスロットを横切るように設けられていることを特徴とする請求項1記載の装置。